

令和4年度第2回江別市消防委員会会議録

1 開催日時及び会場

書面開催により、3月24日を期限として各委員から意見を求め、回答取りまとめ後、4月17日を期限として各委員に議事内容の確認を行った。

2 回答のあった委員（委員7人中7人）

小原愛香委員長、工藤多希子副委員長、加藤理恵委員、春日学委員、丸山博幸委員、及川哲也委員、土屋健委員

議題及び議事の概要

(1) 令和4年江別市災害・救急概況について

・今年度は警戒の件数が増加していることが気になる点です。次年度は減少する事を願っています。（小原委員長）

・救急概況報告では全体的に増加の状況の中、救助（安否確認）につきましても、地域支援も厳しい状況ですが時代に沿ったデジタルを生かした安否確認の推奨はできないものかと…。
昨年は自然災害も少なく、しかしいつ起きても対応できるように、市民一人ひとりの意識を高める啓発が必要かと思っております。救急支援では、必要な知識を身につけておく市民への研修なども大事。（工藤副委員長）

・令和3年と比較すると、救急出動件数が500件以上も増え、救急隊員の皆さんのご苦労があったと思います。本当にありがとうございます。市民は救急要請に対して改めて考え、行動しなくてはと思いました。（加藤委員）

(2) 令和4年度新型コロナウイルス感染症に係る対応について

意見等

・新型コロナウイルス感染症への対応については、ご自身への感染の不安もある中、いつもありがとうございます。行事の中止や縮小については、やむを得ないことだと思います。（小原委員長）

・3年余りの新型コロナウイルス感染症への取組みにつきましては、心より称賛いたします。
今年は地域のイベントが開催され、市民の皆様の緊張がほぐれる中、また違った出動件数が増すと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。（工藤副委員長）

・新型コロナウイルス感染者の搬送件数が202件と記載されています。時期的に第7波が含まれているところと思いますが、想像を超えている件数と理解しています。
救急隊への負担が重くなっている状況での対応に、ご苦労されたことと思います。感謝いたします。（及川委員）

・新型コロナウイルス感染症が長期にわたりまん延する状況下において、人命を守るために消防隊員の皆さんが職務に精励されていることに、あらためて敬意と感謝を表するとともに一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を切に願っています。（土屋委員）

(3) 令和5年度予算（案）の概要について

意見等

・研修費、保守経費の減額が将来への投資を減らしているとも思いますので、過度な減額はしない方が良いと思います。（春日委員）

(4) 今後の消防本部（署）・消防団の主な行事予定について

意見等

・今年は行事が推進されますことを願っております。（工藤副委員長）

・令和5年度は、予定された行事が円滑に実施されることを願っています。（加藤委員）

・マスク着用の指針も見直されたので、積極的に開催した方が良いと考えます。（春日委員）

・マスクの着用が個人の判断に委ねられ、また感染症法上の位置付けも変更になることから、各行事が行いやすくなると思いますが、新型コロナウイルス感染予防対策を行った上で遂行していただければと思います。（及川委員）

(5) 福岡県北九州市小倉北区の旦過地区火災を受けた当消防本部の対応について

意見等

・今後も防火指導や消防訓練等の実施をお願いいたします。（小原委員長）

・実例に沿った対応は、地域の方の意識を高めることができ大切な事と思いました。
地域住民が自主的な訓練の意識を高めるには何が必要なのかと…
当会では、春に災害への備えの研修を実施しています。（工藤副委員長）

・未然予防は重要です。今後も、消防訓練等の指導や火災予防の啓発の継続をよろしくお願いいたします。（加藤委員）